

» 環境目標と実績、環境負荷実態 » 脱炭素社会の実現に向けて » 循環型社会の実現に向けて » 環境汚染物質の削減に向けて » SDGsの達成に貢献するビジネス » 自然共生社会の実現に向けて

環境マネジメント活動

環境目標と実績

DNPは、以下の項目を重点課題として目標を定め、活動を進めています。

評価基準 ◎：目標を大幅に上回る成果があった ○：目標を達成した、または順調に推移
△：積極的に取り組んでいるが、目標達成に至らなかった ×：取り組みが不十分

テーマ	参照ページ	中長期目標 GHG排出量削減は2030年度および2050年まで それ以外は2030年度までの目標	2024年度実績		評価	
GHG 排出量削減	P 20-23	Scope 1+2 排出量を 2030 年度までに 2019 年度比 46.2% 削減 (SBT)	2019 年度排出量	1,062 千トン-CO ₂ e	2019 年度比	△
		Scope 1+2 排出量を 2050 年までに GHG 排出量実質ゼロをめざす	2024 年度排出量	866 千トン-CO ₂ e <input checked="" type="checkbox"/>	18.4% 減	
		Scope 3 排出量 (カテゴリ 1, 3, 4, 5) を 2019 年度比 27.5% 削減 (SBT)	2019 年度排出量	3,556 千トン-CO ₂ e	2019 年度比	
			2024 年度排出量	2,990 千トン-CO ₂ e <input checked="" type="checkbox"/>	15.9% 減	
輸送環境負荷削減	P 23	輸送用燃料使用量売上高原単位を毎年 1% 削減し、2019 年度比 11% 削減	2019 年度原単位	1.28 キロリットル/億円	2019 年度比	◎
			2024 年度原単位	1.02 キロリットル/億円 <input checked="" type="checkbox"/>	20.3% 減	
資源循環率向上	P 24-25	不要物全体で資源循環率※ 70% を達成 ※紙有価物量等を除外した不要物のうち、 マテリアルリサイクルまたはケミカルリサイクルされた割合	2024 年度資源循環率 63.5%		○	
水使用量削減	P 26	水使用量売上高原単位を 2019 年度比 30% 削減	2019 年度原単位	6.73 m ³ /百万円	2019 年度比	△
			2024 年度原単位	6.21 m ³ /百万円 <input checked="" type="checkbox"/>		
環境配慮製品・サービスの売上高拡大	P 30	スーパーエコプロダクツの総売上高比率を 30% に拡大	2024 年度総売上高比率 15.0% <input checked="" type="checkbox"/>		○	
印刷・加工用紙調達ガイドライン適合証明書取得率	P 32	適合証明書取得率 100% を達成	2024 年度取得率 99.5%		○	
環境保全	P 14	大気排出規制項目の最大濃度を規制基準の 70% 以下に維持	2024 年度目標 (自主基準) 達成率 100%		○	
		排水規制項目の最大濃度を規制基準の 70% 以下に維持	2024 年度目標 (自主基準) 達成率 99.7%		○	
		敷地境界における最大臭気を規制基準の 70% 以下に維持	2024 年度目標 (自主基準) 達成率 98.5%		○	
		敷地境界における最大騒音レベルを規制基準の 70% 以下に維持	2024 年度目標 (自主基準) 達成率 99.4%		○	
		敷地境界における最大振動レベルを規制基準の 70% 以下に維持	2024 年度目標 (自主基準) 達成率 100%		○	

温室効果ガス (GHG) 排出量削減目標が「Science Based Targets (SBT) イニシアチブ」の認定を取得

DNPは2018年7月、国際的な環境団体「Science Based Targets (SBT) イニシアチブ」の認定を取得し、2021年4月には、「Well below 2°C目標」として更新認定を取得しました。

さらに2024年に更新したScope 1+2排出量目標と2025年に更新したScope 3排出量目標が、2025年4月に「1.5°C目標」として認定されました。

今後もDNPは、省エネ活動や省エネ設備の導入など、GHG排出量の削減活動を一層強化します。また、サプライヤー各社との関係を強化し、GHG排出量の把握や低排出材料への移行を進めることで、サプライチェーン全体の排出量削減を加速させていきます。

